

# On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.32 オン・エア 2022

市民が創る むさしのFM78.2MHz 広報紙

\*吉祥寺は、多くの人の往来があります。まちに幸せと活気が溢れて、自然と気持ちも前向きになります。緑が多く活気があふれる…そんなパワフルなまちにこれからもずっと住み続けていきたい。

福田 耕三(本町)

\*2011年の原発事故で避難し武蔵野に来て11年。私の武蔵野の好きな所は「人」です。地元を愛し、人に優しい人が多いのがどこか福島と似ているからです。

岡田 めぐみ(緑町)

\*頭をスッキリしたいときは井の頭公園で散歩。気分転換したいときは、カフェ巡り。家具屋や小物ショップ巡りも楽しい。住んで43年。飽きない街だ。

美内 すずえ(本町)

## 私の とっておきの 武蔵野

\*わくわくする刺激とリラックスが共存する街。個性的な映画館、本屋、センスのいい雑貨。癒しだったら井の頭の湧水、チャイの美味しい店と行きつけのマッサージかなあ。

浅田 さかえ(南町)

\*育ったこの街が好きで堪らないのです。程よい自然と近所付き合い、買い物も用事も市内で完結できますし。この先も笑顔の繋がりがずっとずっと続いていきますように！

井口 大也(八幡町)

\*何と言っても美味しい水!! 日々の生活の中で当たり前を感じていますが、誇りです。美肌効果ばつぐん。武蔵野市民にお肌が艶やかな人が多いのは、そのおかげ?

山谷 美和(境)

目次

特集

**Another life**〈アナザーライフ〉  
～コロナ禍2年、日々の暮らしの工夫…… p.2～3

「むさしの today」2021.4/1～2022.3/31…………… p.4～5  
「発信!わがまち・武蔵野人」2021.4/2～2022.3/25… p.6～7  
「フクシマを思うシリーズ・クールチョイス・編集後記」… p.8



# Another life 特集 〈アナザーライフ〉

## ～コロナ禍2年、日々の暮らしの工夫

新型コロナウイルスもデルタ、オミクロンと変異をしながら2年経ち、コロナ禍でのマスク、手指の消毒は当たり前前の日常生活になりました。「むさしのtoday」「発信!わがまち・武蔵野人」に出演の方々のウイズコロナ下の見事な暮らしの工夫!心模様!天晴れです。



ドキュメンタリー映画監督  
早川 由美子

### 週末土曜日、農業研修

コロナ禍が始まった当初は、半年～1年ぐらいで収束するのかな…と考えていましたが、早くも3年目に突入してしまいました。私はドキュメンタリー映画を作っていますが、映画の上映会や講演会など、人の集まる機会が多い職業です。これらは感染防止のため制限せざるを得ず、活動は大きな影響を受けました。

一方、コロナ禍を機に始められたこともあり。これまでは、土日は上映会などのイベントが入ることが多いので、土日に習いごとをするなんて考えもしませんでした。毎週土曜日、1年間の農業研修に通いました(先月末に修了)。コロナ禍で様々なイベントが制限される中、毎週末、広々とした農園で土に触れ野菜作りの基礎を学ぶことができたのは、とても良い気分転換になりましたし、久しぶりに新しいことを学ぶ楽しさも味わえました。

今はもう、いつコロナが終わるのかという予想はしない(できない)ですが、引き続き感染対策をしつつ、コロナ前はできなかったことに挑戦するなどして、視野を広げ、力を蓄えたいと思います。



フリーランサー  
三井 一夫

### 文学とリスナー

高年齢者定番、豪華客船の「船旅」をアナザーライフにしようとした矢先、「金剛石妃号(ダイヤモンドプリンセス号)」が疫病の温床と化してしまった。そこで、暫くは時空を超えて、文学という虚構の旅に出ることにした。「むさしのtoday」で取り上げるべく、市にゆかりの原民喜、横溝正史、吉村昭、丹羽文雄…の自作や評伝を耽読していたら、いつか読みたかった句集・歌集の類にも目移りした。そして、JCB Aのホームページから、全国のミニFMが聴けると知ってからは、旅するリスナーを楽しんでいる。ある日は、「ばあばの昔話」(ウルトラ福島)、羊蹄山の麓の風を感じつつ、「北海道の吹奏楽特集」(ラジオニセコ)、「追悼西城秀樹三昧」(エフエム唐津)等を聴いていた。



写真家  
大石 芳野

### コロナ禍 この2年間

コロナ禍にあったなかで私は写真展『瞳の奥に～戦争がある』(武蔵野市の吉祥寺美術館)の準備に追われ、去年10月～11月、無事に展示会や関連の講演会などを成し遂げることができた。多くの人たちの来場に感謝と感激の日々だった。終了してからは寂しくも余韻に浸っていた。ところが突然、2月24日に『戦争がある』が実戦された。ロシア軍がウクライナ全土に侵攻し、爆撃し、市民を巻き込んだ。彼の地を私は何度か訪ねているだけに友人や知人の顔も浮かぶ。子どもたちがまた戦争の犠牲者となっていることに胸が痛くウツ状態だ。そうしたなか、6月に私の取材余話のような本。集英社から出版されるに当たって、もっか校正に追われている。



お父さんお帰りのさいバーティー代表  
田中 邦忠

### 世界は楽しいコトにあふれている

はじめて緊急事態宣言が発出された時は、一気にやる事が無くなりました。感染そして命の不安が高まる中、何か安全にできることとして「一人・屋外」に当てはまる散歩、特に地元の神社めぐり、玉川上水散策などを始めました。でも人恋しさと活動の必要性からZOOMでのオンライン会議、イベントを始め、現在も続いています。さらに個人的には、オンライン講演会、最近はオンライン哲学カフェなどを楽しんでいます。オンラインは人の熱量は伝わりにくいのですが、全国の人と顔を見てつながれる楽しさもあると思います。ないものねだりではなく人と接しない技術を「どう生かすか」もトライする価値のある楽しみなテーマではないでしょうか。



フリージャーナリスト  
小林 昭一

### 4年前に出会った小学6年生に最近伝えたこと

京王線聖蹟桜ヶ丘駅前の年末イルミネーションは、小学6年生が水力、風力、太陽光で発電した再エネ電気で点灯する。3.11後の自粛ムードの中で消えたままになっていたのを復活させたのは小学6年生で、今中学3年生だ。その点灯式で私は「あなた方が大人になった頃には、再エネで点灯させるのが当たり前になっている」と挨拶したが、当時それがいつになるかまでは言えなかった。ところが英国の首相が2030年までに家庭で使う電気をすべて洋上風力で賄うと宣言した。子どもたちが22～23歳になる8年後のことだ。このことをどうしても伝えたくて、先日中学校で話をする機会を設けてもらった。「8年後に英国に行ってください。それもクリスマスのシーズンに」と。



児童民生委員  
川鍋 和代

### コロナ禍の隙間をぬって

旅に出る機会も減りましたが人出を避けてドライブに出かけます。山道では季節の花、鳥の声、時には動物との出会いもあります。景色はスマホでカシャッ!(便利になりました)。そして道すがら郵便局で風景印を押してもらいます(ナビには干を設定)。地域のおすすめ情報や採りたてミカンを買ったことも。楽しい思い出はハガキにメモします。ダムカード集めも面白いですよ。水陸両用車に乗れる所もあり周辺の山々の桜や紅葉も楽しめます。おすすめはダムカレー。ダム(ご飯)が決壊しないように召し上がれ!



フリープロデューサー  
下谷 一廣

### 心耳

曹洞宗の開祖、道元著「正法眼蔵」に「心眼あり、身眼あり、心耳あり」という言葉がある。心耳と書いて「しんじ」あるいは「しんに」と読む。心を澄まして聞こえないものを聞くという意味の美しい言葉である。私自身もかなりの難聴で、補聴器を付けても人の話が100%聞き取れるわけではない。聞き取れなかったところは心耳で聞くように努めている。朝日歌壇にこんな一首が掲載された「病む母のわが眼をみつめ発したる言葉以前を心耳もて聴く」漢字は不思議なもので心と耳を置き換えると恥となる。心耳もて人の話を聞き自分の心に恥じないように生きたいと思っておりますが……。 「聞く力」などと言っておられる政治家に「民の声 心耳もて聞け」と言っておきたい。



「マギーズ東京に学ぶ  
がんサポート拠点を武蔵野に」代表  
齋藤 理恵

### がんサポート講座開催

数年前に、大好きだった父と兄とお友達をがんで亡くしていたのですが、そんなある時、大切なお友達からがんを患っていることと、『がんサポート』の活動をしたいということを知りました。それから一緒に活動を始めました。

共に活動するメンバーが居て、団体名は『マギーズ東京に学ぶがんサポート拠点を武蔵野に。』となりました。武蔵野市にがんサポートの拠点がほしいと願う団体です。そうした目標を持ちつつ、まずは、がんサポートの情報をお届けしています。

今年度はコロナ禍のため対面が難しく、オンラインで講座をお届けするという挑戦をしました。今後もがんサポートの活動を続けていきたいと思っています。



## 「むさしの today」 あなたの町の情報を市民が自宅から毎日発信 月～金(午前9:20～9:30) 2021年4/1～2022年3/31 (6202回～6462回) 再放送：当日 19：00～、1週間分 日曜日 18：00～

「未就学児の親として」岡田めぐみ(緑)「新年度になって」後藤誠一(北)

「吉祥寺周辺の自転車散策」小林一夫(北)「入学式あれこれ」小川章子(桜)「筋肉の話」川鍋和代(境南)「動かそう！あなたの脳と身体」富永佳菜子(北)「今年の屋上菜園の運営」新垣俊彦(西)

「毎日歩いて見える街の変化」近藤和義(中)「境山野緑地が出来た頃」田中雅文(境)「桜の季節も終わりましたが、今年の桜事情の変化」原利子(東)「FM市民の会広報誌 OnAir 2021年号が完成」鎌内啓子(北)「三鷹市立美術館、太宰治展」岡野正隆(西)

「けやきコミセン新年度に向けて」島森和子(北)「老人クラブ連合会今年の活動について」木川憲子(境南)「今日、喜寿を迎えました」竹内正子(北)「我が家の庭の草花」島津好江(関)「新一年生の下校見守りについて」鬼頭麻佐(本)

「4月のポエム」三井一夫(南)「境でビールのホップを育てています」山谷美和(境)「境の“森を育てる会”に参加して」田中雅文(境)「八幡町コミセン40周年記念を終えて」渡邊卓治(八)「市民の会広報誌オンエアについて」小餅友子(南)

「春の雑木林」田中雅文(境)「九浦の家の庭も変化しています」原利子(東)「歩いてみれば」田中邦忠(南)「関前地区の散歩道のご案内」島津好江(関)「第10回むさしの若葉寄席開催」露木小夜子(境)

「コノナカ、アクティブシニアとフレイルの中間の私は」星野高明(東)「5月あれこれ」小川章子(桜)「パードウィーク」川鍋和代(境南)「今年度老人クラブ会長に就任、問題は山積み」木川憲子(境南)「フクシマを思うシリーズ29開催」鎌内啓子(北)

「けやきコミセンについて」寺島芙美子(北)「作家、原民喜さんの話」三井一夫(南)「武蔵野一中生徒有志で医療従事者に感謝の動画を送りました」鬼頭麻佐(本)「小諸の思い出」岡野正隆(西)「NPO法人 歩こう会の今年度の計画」金子恵一(中)

「地域ボランティアとSNSの活用法」平住周恵(本)「肩こりの改善方法」新藤実徳(桜)「ホームスティと原っぱ中央公園」渡邊卓治(八)「境地区のとんがらし学校とマルシェ」山谷美和(境)「中央福祉の会が20周年」今村明美(御)

「平和散策マップを紹介」小餅友子(南)「地域の大切さ」岡田めぐみ(緑)「身近な自然について」川鍋和代(境南)「我が家の珍しい花々」島津好江(関)「コロナワクチン接種予約の話題・梅雨時の東町の花模様」原利子(東)

「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「お世話

になった馴染みの店が3月閉店」小林一夫(北)「ワクチン接種について」小川章子(桜)「恐竜ムサシノサウルスについて」竹内正子(北)「樹の香りを楽しもう」田中雅文(境)

「つばさ音楽クラブ、2年ぶりに舞台に出演」東海林未季(西)「定山溪鉄道に乗った時の思い出」岡野正隆(西)「コノなかのオトパサロン6月12日ZOOMでなく会議室参加、」星野高明(東)「コロナ禍の中での老人クラブ連合会」木川憲子(境南)「フクシマを思う29について」鎌内啓子(北)

「八幡町で見かけた小さな自然」伊藤さつき(八)「通学路を守るバリエード」鬼頭麻佐(本)「つばめはどこへ？聞こえるのはカラスの鳴き声ばかり」藤川千草(三・牟礼)「果たしてコロナは収まるのか」新垣俊彦(西)「緊急事態宣言解除後日常生活はどの様に世の中は変わるのか」中村茂美(南)

「地域SNS吉旅の活動」平住周恵(本)「プレイス前で境マルシェが開催」山谷美和(境)「コロナの閉じこもりで今年も伝統的な梅干し作り」渡邊卓治(八)「地域社協で丁目活動」小餅友子(南)「老化予防の歩き方」金子恵一(中)

「よらんしょ、サークルで最近感じること」岡田めぐみ(緑)「歩いてみれば」田中邦忠(南)「二俣尾に行ってきました」川鍋和代(境南)「隠れたベストセラー 地球の歩き方、東京」鎌内啓子(北)「武蔵野の二つの川(玉川上水・千川上水)と橋」小林一夫(北)

「防災の会アンケート報告」寺島芙美子(北)「第1小学校の夏祭り」鬼頭麻佐(本)「野鳥の話」島津好江(関)「東町に出来た小さなお店」原利子(東)「吉西コミセンのめだか」藤川千草(三・牟礼)」

「オリンピックボランティアを辞退して」小川章子(桜)「ワクチン接種を終えて」岡野正隆(西)「今日からオリンピックの競技が始まる」竹内正子(北)「武蔵野老人クラブ連合会とは」木川憲子(境南)「武蔵野の自然を守る」田中雅文(境)

「スポーツの素晴らしさ」新藤実徳(桜)「武蔵野市夏季平和事業について」大上茂雄(桜)「果ごもりからの脱出」渡邊卓治(八)「独歩の森の作業に参加して」平住周恵(本)「御殿山サロンの今」今村明美(御)

「武蔵野の植物から」田中雅文(境)「オリンピックを見ての感想」小川章子(桜)「地球温暖化オンライン講座」田中稔(三・井の頭)「57年前の東京オリンピックの忘れられない思い出」鎌内啓子(北)「夏休みの行事」川鍋和代(境南)

「接客と笑顔」近藤和義(中)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「コロナ自粛と東町公園の花壇」原利子(東)「成蹊学園周辺ではテイクアウト激戦区です」小林一夫(北)「コロ

ナ緊急事態宣言は8月で終了するのか？」新垣俊彦(西)

「境の街の探訪」平住周恵(本)「武蔵境のホップとトウガラシの話」山谷美和(境)「特別養護老人ホームさくらえんのいきいき体操」木川憲子(境南)「再エネ賦課金について」竹内正子(北)「若い世代の居場所づくり」岡田めぐみ(緑)

「地域の防災・お祭りに関わりながら」伊藤さつき(八)「自由研究について」三井一夫(南)「中島飛行機の簡易鉄道・軍用線跡」岡野正隆(西)「長崎の平和記念像と武蔵野市」渡邊卓治(八)「青少協は子供たちのイベントを企画しながら開催を待つ」鬼頭麻佐(本)

### ☆防災週間特集一

「初めての防災・子育てに知って欲しい防災のイロハ」市川順子(南)「在宅避難の勧め」寺島芙美子(北)「今日は防災の日・今週は防災週間」岸本妃奈(北)「携帯トイレは災害の時の必需品」市川ゆかり(南)「愛犬・愛猫の防災について」大村知之(本)

「ウォーキングのスケジュール」金子恵一(中)「雑木林がピンチ！」田中雅文(境)「9月は、認知症を知る月間です」川鍋和代(境南)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「東町コミセンフォーラムでのこと」原利子(東)

「吉祥寺北町の小さな公園を散策」小林一夫(北)「藤村学園女子の文化祭の様子」平住周恵(本)「秋と言えば…秋の七草などいろいろ」小川章子(桜)「武蔵境レンタル傘の取り組みについて」山谷美和(境)「三鷹駅南口商店街」岡野正隆(西)

「むさしのtodayの放送を皆さんにお届けするまで」小餅友子(南)「地域と防災」岡田めぐみ(緑)「俳句の話」三井一夫(南)「コロナ禍の中での武蔵野市老人連合会の事業について」木川憲子(境南)「カフェインについて」新藤実徳(桜)

「コロナ禍の巣ごもりから早く解放されたい」渡邊卓治(八)「我が家の庭にハクピシンが現れました」鬼頭麻佐(本)「ドキュメンタリー映画 “屋根の上に吹く風は”」浅田さかえ(南)「ペットボトルを分解する微生物が発見されました」竹内正子(北)「街づくり一環の道路標識がリニューアルされました」吉岡諒子(南)

「ナラ枯れの地域フォーラム」田中雅文(境)「むーそーら親子で学ぶ、連続工作教室」鎌内啓子(北)「コロナ禍の市民文化祭、パレエ&ダンス」東海林未希(西)「川崎平左衛門、江戸時代の偉人について」金子恵一(中)「マジックショー開催」伊藤和男(中)

「境・独歩の森のナラ枯れについて」平住周恵(本)「緊急事態宣言が解除されてボランティア活動がまた始まります」小川章子(桜)

「最近の子供たちの様子」川鍋和代(境南)「カラオケの始まりについて」原利子(東)「さくらえんで行っている、いきいき体操」木川憲子(境南)

「中学校の防災授業に参加」島森和子(北)「一中フェスタ開催」鬼頭麻佐(本)「お父さんお帰りなさいパーティー開催」田中邦忠(南)「サントリー美術館、開館60周年記念展」岡野正隆(西)「大石芳野写真展、瞳の奥に戦争がある」小餅友子(南)

「推理作家・横溝正史と武蔵野市」三井一夫(南)「武蔵境 秋のイベント諸々」山谷美和(境)「マジエルカ、クラウドファンディング始まる」伊藤みのり(本)「気候の変化、変容」新垣俊彦(西)「ああビールが美味しかった！コロナ緊急事態宣言解除、仲間と久しぶりにビールを飲みました」渡邊卓治(八)

「雑木林のナラ枯れを防ぐには」田中雅文(境)「お父さんお帰りなさいパーティ」田中邦忠(南)「こだわりの店、カフェプチと個人コンビニ・バル」小林一夫(北)「ネジ理論を実践して」近藤和義(中)「渋沢栄一と武蔵野」竹内正子(北)

「秋を楽しみました」川鍋和代(境南)「一小地区のミニジャンボリーが中止・延期の繰り返してしたが、やっと開催されそうです」鬼頭麻佐(本)「東久留米市の湧水散策」岡野正隆(西)「東町の野鳥」原利子(東)「コミセンの消毒と小さな生き物たち」藤川千草(三・牟礼)

「朝のラジオ体操が始まり、年末に向けての地域イベントの準備を進める」平住周恵(本)「還暦記念演奏会でのコンサート準備中」佐々木雄一(関)「スクールソーシャルワーカーと親の関わり」岡田めぐみ(緑)「ファインダーから見た福島の実実・飛田晋秀氏講演会」鎌内啓子(北)「南町コミュニティニュースから」小餅友子(南)

「久しぶりに京都旅行に行ってきました」小川章子(桜)「ようやく老人クラブ活動が軌道にのってきました」木川憲子(境南)「呼吸の大切さについて」新藤実徳(桜)「境のイルミネーション」山谷美和(境)「けやきコミセンの昨今」寺島芙美子(北)

「作家・吉村昭について」三井一夫(南)「中央公園の今盛りの皇帝ダリアについて」渡邊卓治(八)「名古屋から武蔵野に来て思うこと」小美濃亜衣(東)「クリスマスコンサート開催」坂爪いちお(三・上連雀)「武蔵野森公園でお弁当&音楽会」小林一夫(北)

「皆で考える雑木林の未来」田中雅文(境)「京都に行ってきました」小川章子(桜)「京都の

むさしのFM **78.2** MHz

紅葉散策」岡野正隆(西)「青少協、第一地区のデイキャンプ実施」鬼頭麻佐(本)「紙おむつの処理とリサイクル」竹内正子(北)

「コミセンも少しづつ動き始める」小餅友子(南)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「今年1年を振り返り」平住周恵(本)「けやきコミセンの周りで地域の小さなイベント開催」島森和子(北)「簡単に確実な健康法、ウォーキングにつて」金子恵一(中)

「フクシマを思う30、私が原発を止めた理由」鎌内啓子(北)「境南小と唐辛子のコラボレーション」山谷美和(境)「ルーツを探る会20年」渡邊卓治(八)「今年の老人クラブを振り返って」木川憲子(境南)「この1年を地域で振り返る」原利子(東)

「最近読んで面白かった本の紹介」川鍋和代(境南)「60年前のむさしの」三井一夫(南)

「1年を振り返り今年の抱負」小餅友子(南)「1年を振り返り今年の抱負」市川和也(杉)「1年を振り返り今年の抱負」平住周恵(御)「1年を振り返り今年の抱負」小林一夫(北)

「干支の寅年として新年を迎えて」渡辺哲(本)「干支の寅年として新年を迎えて」鈴木杏香(関)「干支の寅年として新年を迎えて」田中邦忠(南)「干支の寅年として新年を迎えて」小菅けいこ(本)

「新春の玉川上水」田中雅文(境)「一小地区の新春のケン玉大会の様子」鬼頭麻佐(本)「トラという漢字の話、書道教室・十支展」嵐月(八)「晩秋の神宮外苑散策」岡野正隆(西)「東町の新年の様子」原利子(東)

「講演 “虐待について”」小川章子(桜)「三小校庭でどんど焼き」児玉言子(南)「今年こそ老人クラブで文化祭を実施したい」木川憲子(境南)「二小6年生で武蔵野市民料の取り組みについて」山谷美和(境)「岩波ホールが閉館」鎌内啓子(北)

「武蔵野市で過ごす冬」小美濃亜衣(東)「武蔵野の作家、丹羽文雄について」三井一夫(南)「最近の小学校の子供たちの様子」川鍋和代(境南)「コロナのカウントダウン」渡邊卓治(八)「パーキンソン病と音楽療法」竹内正子(北)

「どんど焼きとけやきコミセンのイベントの予定」寺島芙美子(北)「講演会の延期・講師、山脇由貴子の紹介」小川章子(桜)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「家族で守ろう10の約束」川鍋和代(境南)「森の手入れに大活躍の子供たち」田中雅文(境)

「70歳でスマホデビューして1年」星野高明(東)「遠藤周作の世界」岡野正隆(西)「コロナに打ち勝つ運動の重要性」新藤実徳(桜)「あなたの地域の自主防災組織ご存知ですか」鬼頭麻佐(本)「最近の男性のファッション」島津好江(関)

「市内地域活動について」平住周恵(御)「小学校給食について」山谷美和(境)「本町・御殿山ネットワーク、吉西福祉の会20周年」杉田哲朗(本)「どこかで春を探して冬の散歩」鎌内啓子(北)「老人クラブ芸能文化祭について」木川憲子(桜)

「地域に根付いた3つの店」小林一夫(北)「介護された丹羽文雄」三井一夫(南)「オリンピックでの同じ世代の活躍について」小美濃亜衣(東)「太宰治の跨線橋」竹内正子(北)「八幡町の人のつながりの大切さ」伊藤さつき(八)

「コロナと延命寺の梵鐘」渡邊卓治(八)「もっとお雛様を飾りましょう」藤川千草(三・牟礼)「隅田川にかかる橋について」金子恵一(中)「ちょっと歩いてみれば」田中邦忠(南)「武蔵野の雑木林から未来へつなぐ」田中雅文(境)

「鐘について」下谷一廣(北)「国際女性デーにちなんで」小川章子(桜)「伊豆の旅を楽しんで来ました」川鍋和代(境南)「けやきコミセンで落語会・防災エトセトラ」寺島芙美子(北)「都の“地域なんでもアドバイザー派遣”の制度度を利用」鬼頭麻佐(本)

「独歩の森の活動について」平住周恵(御)「関前のひな祭りの前日の宵節句について」島津好江(関)「地域活動に参加して」大橋弘(御)「JNonowa テラスでイベント」山谷美和(境)「芸能文化祭展示を終えて」木川憲子(境南)

「オミクロン感染について」岡田めぐみ(緑)「東町・南町の小さな公園」小林一夫(北)「春の武蔵野」三井一夫(南)「つばさ音楽クラブの活動」東海林未季(西)「60年ぶりに映画ウエストサイドストーリー上映」鎌内啓子(北)

「コロナと90歳の老々介護」渡邊卓治(八)「先日の地震における停電になったこと」今村明美(御)「コロナ明けの先駆けとして行われたお茶会」小美濃亜衣(東)「神田川の散策」岡野正隆(西)

次は、  
**7000回**  
めざして!!

\* 出演予定者は、タウン情報紙「週刊きちじょうじ」の紙面およびホームページに掲載。

**むさしのFM** では、リスナーの皆様からの情報・メッセージをお待ちしています。FAX、e-mailでお寄せ下さい。  
TEL 0422-23-0782 FAX 0422-22-9090 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階  
http://www.musashino-fm.co.jp 最新トピック・情報交換掲示板 e-mail info@musashino-fm.co.jp



# むさしのFM市民の会企画「発信! わがまち・武蔵野人」

コーディネイト番組

## あなたのそばの武蔵野人が続々登場!(2021年4/2~2022年3/25 944回~1044回)

今年もコロナ禍で出演者全員スタジオではなく電話でお話しして頂きました。

新しいパーソナリティー田中知子さんの  
好奇心に溢れたインタビューは、新鮮でした。

★毎週金曜午後4:10~4:30 生放送 土曜朝10:00~再放送

★インターネット同時配信! 世界中で聴けます。

★放送後はHPポッドキャストでいつでもお楽しみ下さい。

### ◎2021年

- 4/2 土平哲生さん(本町)ソイビーンファーム店長、大正通りから中町通りへ移転
- 4/9 北川史歩子さん(南町)子育て親子を応援しているぐーぐーらいぶのその後
- 4/16 庄司あかねさん(中町)パティスリー AKLaboオーナーシェフ開店18年
- 4/23 市川和也さん(杉並区)声優、ナレーター、落語、朗読
- 4/30 矢野朱美さん(本町)シアターカフェ吉祥寺なおきち店長、元ホテル勤務
- 5/7 小川真理子さん(練馬区)キャリアを活かしたIT講座
- 5/14 美内すずえさん(本町)漫画家「ガラスの仮面」、武蔵野市在住43年
- 5/21 吉水咲子さん(杉並区)絵手紙作家、絵手紙「夢工房」主宰
- 5/28 土屋忍さん(西東京市)武蔵野文学館館長、新聞で「武蔵野の文人」連載
- 6/4 手塚一郎さん(本町)ビデオインフォメーション・VIC代表ハモニカ横丁仕掛人
- 6/11 皆倉なつみさん(三鷹市)シンガーソングライター
- 6/18 浅野晴美さん(北町)武蔵野市初の中学生のための居場所(四中)
- 6/25 山口正子さん(南町)M'sガーデン、作業の後のランチが楽しみ
- 7/2 菅野恵さん(中町)『森のカフェ』I、II 自費出版、白血病から生還
- 7/9 井口大也さん(八幡町)調理師しながら地域活動
- 7/16 服部沙希さん(中町)「食坊和錆」オーナー、アートサロン「和錆」館長
- 7/23 藤原亀吉さん(南町)アメリカンピザ専門店「トニーピザ」オーナー開店53年
- 7/30 原久子さん(杉並区)ヨガ、瞑想、原アカデミー(株)代表
- 8/6 阿部雅治さん(西久保)建築イラストレーター「想い出パス」活動
- 8/13 中里崇亮さん(八幡町)延命寺住職、平和事業実行委員会委員長



土平哲生さん(4/2)



市川和也さん(4/23)



北川史歩子さん(4/9)



矢野朱美さん(4/30)



庄司あかねさん(4/16)



小川真理子さん(5/7)



美内すずえさん(5/14)



吉水咲子さん(5/21)



土屋忍さん(5/28)



手塚一郎さん(6/4)



皆倉なつみさん(6/11)



浅野晴美さん(6/18)



山口正子さん(6/25)



菅野恵さん(7/2)



井口大也さん(7/9)



服部沙希さん(7/16)



藤原亀吉さん(7/23)



原久子さん(7/30)



阿部雅治さん(8/6)



中里崇亮さん(8/13)



高橋勇さん(8/20)



井上弘美さん(8/27)



大西里実さん(9/3)



飯田恭子さん(9/10)



上野千鶴子さん(9/17)



福永典子さん(9/24)



金聖雄さん(10/1)



大石芳野さん(10/8)



鈴木祐一さん(10/15)



石橋真弓さん(10/22)



浅田さかえさん(10/29)



田中雅文さん(11/5)



磯貝たかあきさん(12/17)



市川ゆかりさん(12/24)



バクチャーさん(1/7)



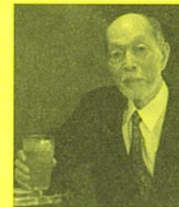
佐々木雄一さん(1/14)



中嶋武弘さん(1/21)



光山英明さん(1/28)



下谷一廣さん(2/4)



福田耕三さん(2/11)



小松洋子さん(2/18)



市原ひかりさん(2/25)



若松倫夫さん(3/4)



高橋勉さん(3/11)



富永佳菜子さん(3/18)



葭井摩美さん(3/25)

- 8/20 高橋勇さん(境)境自動車教習所会長、入所者数全国第3位
- 8/27 井上弘美さん(西東京市)武蔵野大学文学部特任教授、NHK俳句講座
- 9/3 大西里実さん(境南町)テーブルコーディネーター、ティータイムの楽しみ方
- 9/10 飯田恭子さん(北町)珍来亭オーナー、創業昭和26年
- 9/17 上野千鶴子さん(中町)社会学者、東京大学名誉教授、「在宅ひとり死のススメ」
- 9/24 福永典子さん(本町)すみれ幼稚園園長、開園70周年
- 10/1 金聖雄さん(関前)映画監督、新作「はなはなめその後」
- 10/8 大石芳野さん(御殿山)写真家、武蔵野市平和の日条例10周年記念写真展
- 10/15 鈴木祐一さん(北町)棚田LOVER会員、武蔵野市と棚田を繋ぐボランティア
- 10/22 石橋真弓さん(境南町)フラワーアレンジメント教室主宰
- 10/29 浅田さかえさん(南町)ドキュメンタリー映画監督、新作「屋根の上に吹く風は」
- 11/5 田中雅文さん(境)独歩の森代表、「ナラ枯れ」を防ぐ活動
- 11/12 寺門愛真さん(南町)「ベンリー吉祥寺店」勤務、地域の住み易さに貢献
- 11/19 梁裕河さん(中野区)武蔵野市女性史編集委員、朝鮮女性史研究会会員
- 11/26 高橋和さん(南町)女流棋士、子ども女性将棋教室「将棋の森」主宰
- 12/3 平山つららさん(杉並区)都立総合芸術高音楽科3年、ショパンコンクールが夢
- 12/10 伊藤みのりさん(本町)中道通りセレクトショップ「マジェルカ」理事
- 12/17 磯貝たかあきさん(江戸川区)ジャズグループ「ブリーズ」バリトン歌手
- 12/24 市川ゆかりさん(南町)トイレアドヴァイザー、防災士、携帯トイレの重要性



寺門愛真さん(11/12)



梁裕河さん(11/19)



高橋和さん(11/26)



平山つららさん(12/3)



伊藤みのりさん(12/10)

## 田中知子の 一年の感想



パーソナリティを始めて一年。毎週武蔵野人にインタビューするのが私の楽しみになりました。特に美内すずえ先生にお話を聴けたのが宝物。とても緊張しましたが気さくで面白く、吉祥寺愛に溢れた方でした。ラジオを通じて私自身、吉祥寺を始めとする武蔵野への興味が深まり学びの場にもなっています。親しみやすく地元愛に溢れた方々との交流を幸せに感じながら2年目もがんばります!

田中知子



★吉祥寺チャリティライブイベント「フクシマを思うシリーズ」12年目へ! 協力:むさしのFM市民の会

東京電力福島第一原発事故からまる11年になりました。政府の「原子力非常事態宣言」は続いています。世界が自然エネルギーに加速する中、日本はそれに逆行するような再稼働を目論んでいます。そんな中「フクシマを思うシリーズ」は30回目を迎えました。今後も「福島原発事故を忘れない、風化させないを」モットーに福島の人々に心を寄り添い続けて、息長く吉祥寺チャリティライブを続けてまいります。

司会・朗読 金子あい (鎌内啓子 記) 写真協力:週刊きちじょうじ

《2021年度開催報告》

◎第29回6/26 (土) 武蔵野公会堂パープルホール 14:30 ~  
講演:片山夏子 (東京新聞 福島特別支局記者)

「ふくしま原発作業員日誌~記者が見つめた10年」

朗読:金子あい

演奏:李政美 (歌、ギター他) & 竹田裕美子 (ピアノ)

片山夏子記者の原発廃炉作業のスライドを見せながら原発作業員の現場からの生の声の報告には、イチエフの真実が感じられました。長年作業員取材するうちに、いつしか取材先というよりも、人間としての大事な付き合いになったという。李政美さん「ああ福島」の歌には魂を揺さぶられました。



◎第30回1/29 (土) 武蔵野公会堂パープルホール 14:30 ~  
講演:樋口英明 (元福井地裁裁判長)

「私が原発を止めた理由」

朗読:金子あい「福井地裁大飯原発運転差し止め訴訟判決要旨」

演奏:小室等 (歌、ギター)、坂田明 (アルトサックス、歌)、谷川賢作 (ピアノ)

樋口英明さんは原発を止めた理由をパワーポイントを駆使しながらも飄々とした語り口で、時々笑わせながら分かりやすく講演。金子あいさんの朗読は今回の核となり圧巻でした。それを受けてのミュージシャンの演奏も坂田明さんのサックス「ひまわり」、小室等さんの「死んだ男の残したものは」心揺さぶる名演奏でした。30回という節目に全プログラムとお客様が一体となった、忘れられない一期一会の会でした。



\* 次回のフクシマを思うシリーズは  
8月2日(火曜日)  
武蔵野公会堂パープルホール  
19:00~を予定しています。



『清水哲夫さんを偲んで』

平成7年3月28日正午、開局の第一声を初めて世に送り出した出したFMの名物パーソナリティー清水哲夫さんが3月7日に84歳で逝去されました。

著名な詩人で「水甕(みずがめ)座の水」でH氏賞、「増殖する俳句歳時記」は20年に亘り零時に新句を掲げられ、そのお人柄は温かく清澄で深淵な知識は周囲を魅了し、その中のご指導を頂きました。

感謝と共に心からのご冥福をお祈り致します。

むさしのFM市民の会 初代会長 小美濃珠子

地球温暖化対策のための「COOL CHOICE」の普及啓発放送の中の「生活の知恵袋 (2020年8月~2021年1月)」にコーディネーターとして協力しました。

◆生活の知恵袋 出演者一覧

日時	名前	テーマ
2020.08.05	鎌内 啓子	我が家のささやかなエコ生活
2020.08.12	小餅 友子	環境について思うこと
2020.08.19	中村 茂美	食材の活用法
2020.08.26	島津 好江	地域の環境が変化しています
2020.09.02	竹内 正子	私のエコ
2020.09.09	小宮山 寛乃	生活クラブとエコな生活
2020.09.16	佐藤 誠	再生可能エネルギーについて
2020.09.23	白石 ケイ子	レジ袋からエコバック
2020.09.30	田中 邦忠	身近なエコ
2020.10.07	小宮山 寛乃	生活クラブの活動について
2020.10.14	三浦 香澄	腐葉土の活用について
2020.10.21	山田 清	省エネ住宅について
2020.10.28	白石 ケイ子	マイボトルの活動
2020.11.04	藤川 千草	エコについて思うこと
2020.11.11	山田 清	省エネの暮らしの住宅編
2020.11.18	小宮山 寛乃	環境フェスタについて
2020.11.25	白石 ケイ子	むさしのエコReゾート
2020.12.02	志賀 和男	生ごみをたい肥にして野菜作り
2020.12.09	一之瀬 泰子	プラスチックごみについて
2020.12.16	山田 清	熱の伝わり方について
2020.12.23	白石 ケイ子	日頃の活動について
2020.12.30	島津 好江	昔の大掃除
2021.01.06	西口 周三	「フードバンクって何?」講座
2021.01.13	小山 裕子	会の活動と普段の取り組み
2021.01.20	山田 清	YUCACOシステム
2021.01.27	白石 ケイ子	むさしのエコReゾート

On Air オン・エアー —むさしのFM市民の会だより—

Vol.32(2022年4月発行)

代 表 : 小餅 友子  
事 務 局 : 〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 3-7-2 中村方 TEL/FAX 0422-44-4719  
運営委員: 鎌内 啓子 小林 一夫 島津 好江 竹内 正子 土田 萬里子 中村 茂美 藤川 千草 星野 高明

編集・発行:むさしのFM市民の会 運営委員会  
題字・表紙デザイン:故松岡 裕子さん